

# 第46回教育美術・佐武賞

## 選考委員

(順不同・敬称略)

佐藤 康宏  
東京大学教授

荒木 照子  
岐阜聖徳学園大学教授

加藤 修  
千葉大学教授

辻 政博  
前東京都図画工作研究会会長

林 耕史  
群馬大学准教授

藤原和幸  
奈良学園小学校校長

## 美術教育に関する実践研究 (報告または論文)

### 教育美術・佐武賞

子どもの表現に、物語はなぜ必要か  
—2歳の描画遊びの応答から—

片岡 杏子

※2011年4月  
日立家庭教育研究所 研究員

### 佳作賞

思考力・判断力および表現力を育成する美術教育のあり方  
〜他教科との連携を図る美術の授業の可能性について〜

高野 由美子

千葉県柏市立第五中学校 教諭  
※現在柏市立中原中学校勤務

### 教育美術・佐武賞について

財団法人教育美術振興会の初代理事長として、長い年月ひたすら美術教育の振興に心をくだき、生涯をかけて大きな力を尽くされた佐武林蔵先生(昭和三十四年没)のご寄付によって、昭和四十一年(一九六六)年に教育美術・佐武賞が設立されました。以来、本会は毎年、美術教育に関する実践報告や研究論文を広く全国に求めて、その中の優秀作に賞を贈ることにいたしました。

美術教育界には、以前から子ども作品の展覧会による授賞は行われておりましたが、教師自身の実践や研究についての表彰はなく、幾多の優秀な人材やすばらしい実践研究が埋もれていたように思われます。その意味において、この教育美術・佐武賞の発足は画期的なことであると信じております。本賞が契機となって、学校現場における実践活動が活性化し、研究の輪が一層広がることを願っています。

この度、教育美術・佐武賞の事業は四六回を重ねました。ご支援・ご協力をいただきました関係各位に、改めて深い感謝の意を表します。

第 1 回	農山村における絵画指導の意味	阿倍良信 (青森県)
第 2 回	生活に根ざす図工教育	今北信雄 (和歌山県)
第 3 回	私はこのようにして成果をあげた	細田和子 (山口県)
第 4 回	私はこのようにして実践した 美術教育における技術	小野寺尠子 (岩手県) 山口昌伴 (東京都)
第 5 回	私はこのようにして実践した	田中義雄 (山口県)
第 8 回	幼児の版画遊びとその指導	安田幸子 (岐阜県)
第 9 回	絵本制作に見る生徒の創造性とその背景	向井弘子 (大阪府)
第 10 回	豊かな創造性を育てる美術教育	川瀬 弘 (岐阜県)
第 11 回	情操豊かな創造的子どもの育成	吉井 宏・野中敏信 (福岡県)
第 12 回	心を育てる図工科指導	岡田愨吾 (山口県)
第 13 回	一人一人の心に染み通る美術教育	照井トシ子 (岩手県)
第 15 回	筑豊の子らと歩いた 20 年	日高幸子 (福岡県)
第 16 回	B 民話の協同連作(壁画)と地域への波紋	野島光洋 (静岡県)
第 17 回	A 図画工作における自己評価の実証的研究 B 表現の芽や根を育てる低学年の図工科指導	宮本朝子 (東京都) 三浦由紀子 (山口県)
第 19 回	A 絵画表現における子どもの空間表現に関する研究 B 絵画指導における重点の考察	村瀬千樞 (北海道) 安藤恭子 (岐阜県)
第 20 回	B 創造する力を培うことにより自ら行動できる子の育成を目指した実践	中澤信子 (神奈川県)
第 21 回	A 発想教材を考える B 美術教師 10 年の軌跡	星 邦男 (東京都) 山口喜雄 (神奈川県)
第 22 回	A 登校拒否児に対する絵画療法の発展的研究 B 自らを切り拓いていく図画工作科学習指導	川村雅史 (大阪府) 近藤久美子 (福岡県)
第 23 回	B 造形活動を通しておもいを語る子どもを育てる	代表・島西喜久恵 (和歌山県)
第 24 回	A 人物描画等の発達にみる指導が「形」と「意味」	高田利明 (山口県)
第 25 回	B 蕾をつける頃	中村洋美 (広島県)
第 26 回	A ジャコモッティ的アプローチによる鑑賞教育の一試案	小澤基弘 (茨城県)
第 27 回	B 小学校 6 年生を対象にした図画工作 年間テーマ「戦陣に挑む」の実践	大橋圭介 (兵庫県)
第 28 回	A イメージ批判序説 B 同時代の美術教育の可能性をポップアートにさぐる	菅 章 (大分県) 上屋美千弘 (岐阜県)
第 29 回	B 豊かな体験から生まれた思いを表現に	畑 正純 (福岡県)
第 30 回	A 生命形態と美術教育 B 総合教育としての広場づくり	渡邊晃一 (福島県) 代表・原田敬一 (神奈川県)
第 31 回	B 郷土を愛する心を育てる造形教育を目指して	佐藤あい子 (岩手県)
第 32 回	B 感性を培う「みる」授業の実践	いなば美育サークル (鳥取県)
第 33 回	B 造形教育とダイオキシソ	橋本忠和 (兵庫県)
第 34 回	B 自己実現の満足感を味わわせたい	永井高志 (新潟県)
第 35 回	B 認知的方略の自覚化を通じた美術教育	柳沼宏寿 (福島県)
第 36 回	B 生徒の能動性を生かす鑑賞指導のあり方を求めて	人見和宏 (滋賀県)
第 37 回	B 造形感覚の育ちを感じながら表現を楽しむ子ども	馬場真弓 (福岡県)
第 38 回	メッセージテーマをもった図画工作科を中核とした学習単元の開発	濱口由美 (徳島県)
第 39 回	人とのかかわりの中で、独自性を磨く造形活動	米山慶志 (愛知県)
第 41 回	鑑賞を楽しむ子どもをめざして	くまもと図工サークル (熊本県)
第 42 回	「動きを取り入れた表現」の実証的研究	平向功一 (北海道)
第 44 回	心を耕す感性の教育を目指して	南 聡 (愛媛県)
第 45 回	美術鑑賞教育の実践的課題と教材化の視点	佐野真知子 (兵庫県)
第 46 回	子どもの表現に、物語はなぜ必要か	片岡杏子 (神奈川県)

※ 第 6 回、第 7 回、第 14 回、第 18 回、第 40 回、第 43 回は該当者なし。